

しおん



施設長 佐野 毅

謹賀新年

振り返れば、特別養護老人ホーム望みの門紫苑荘が開設したのは1980(昭和55)年で、今年で施設開設35年目を迎えます。この機関誌「しおん」は、今年で第50号となります。

毎年歳の瀬になると、日本漢字検定協会が「今年の漢字」を発表しますが、昨年を代表する漢字は「税」でした。昨年4月に消費税が8%に上がり、いすれ10%にまで上がることは既にご承知のことと存じます。アベノミクスの経済効果の恩恵に預かっているのは、一部の大企業の人たちばかりで、私たち一般庶民には未だ広く行き渡っていない、景気が良くなった、という実感は全く感じない、この声があちらこちらから聞こえてきます。

また本年は、介護保険法の改正が予定されており、特別養護老人ホーム利用希望者に対する入所基準の見直しや、介護報酬の改定、利用者様のご本人負担額の改定などが予定されており、具体的な改定事項について分かり次第、その都度ご家族の皆様にお知らせいたします。

戸惑いました。

一番の違いは、排せ交換が必要な方の人数が楽生園の時は4人ほどでしたが。紫苑荘では20名程もいらっしやるので、当初は体が慣れない為かきつく、このまま就いていかれるのかなと心配でした。

異動後3ヶ月を過ぎた頃からは体が少しずつ慣れてきて、頑張っていけると思いました。

利用者の方も私の事を少しずつ知って頂けるようになり、言葉を掛けてくださるようになりました。勤務時間が終わり帰宅する際には、「ありがとうございます。気を付けて帰ってね。」の声や「いってらっしゃい」なんて声をかけてくださる方もおり、癒される気持ちになって明日の勤務もすっかりやらなくてはいけなくなります。

日々業務に追われてバタバタと動き回ってしまう毎日ですので、私の希望としては、もう少し利用者の方とコミュニケーションがゆっくると取れたらいいのかなあと感じています。

目標は、利用者の方々が毎日笑顔で過ごして頂ける紫苑荘にしていきたいと思っています。ごつぞよろしくお願いたします。

(2階介護員一回)



福祉・介護をめぐる制度が毎年のように目まぐるしく改定されています。しかし、国の制度が例えどのようになろうとも「変えてはいけないこと」、すなわち「利用者様本位の介護・福祉サービスの提供」ということについて、私たちは全力で努めてまいります。法人設立の理念である「聖書の教えに基づいて、キリストの愛をもって隣人(利用者様)に仕える」精神は、望みの門の永久不変の精神として守り伝えていく所存です。



3階便り

介護員補助 大窪 優

～社会人1年生として～

昨年の春に高校を卒業し社会人となりました。私が介護職に就こうと思ったのは、自宅で祖父母と暮らしている中で、介護の仕事に就いて介護技術を身につけて、祖父母のためにもなればいいな、と思ったからです。

紫苑荘に就職し、先輩方のテキパキとした動きを見て「自分にも出来るかな」と不安を抱いていましたが、先輩方からひとつひとつ丁寧に教えていただいたので、少しずつ動

行事報告

12月20日(土)。1階多目的室にて「紫苑荘クリスマス会」を行いました。

今年、「望みの門学園」のみなさんによる手話「ア」と「望みの門楽生園」の皆さんによる「降誕劇」を楽しく観覧しました。

観覧後は、2階・3階のそれぞれのフロアにて「クリスマスケーキ」でお祝いしました。僅かな時間でしたが、年末の楽しいひとときを過ごすことができました。



医務室便り

健康管理室長

渡邊 貴貴



私ごとですが、昨年11月23日に結婚し渡邊となりました(旧姓 千葉)。

この機関誌が皆様のお手元へ届く頃は、インフルエンザウイルスやノロウイルス感染症の流行がピークとなっている頃かと思えます。当施設では11月14日にインフルエンザの予防接種を完了しております。感染症

(看護職員一回)

るようになってきました。介護の仕事は、思っていたよりも身体と頭を使う仕事なんだな、と実感しました。

施設の行事「夏の納涼祭」や秋の「運動会」などにも利用者様と共に参加させていただき、利用者様の生き生きとした笑顔を見るのができて私も嬉しくなりました。

今はまだ、先輩方に教えられたり助けられたりして不慣れな点も多々ありますが、望みの門で開催するホームヘルパー2級の資格を取って、これからも日々利用者様の介護を頑張りたいと思います。



2階便り

介護副主査 山崎 洋子

～楽生園から紫苑荘に異動となって～

昨年の8月より望みの門楽生園から望みの門紫苑荘に異動となって5ヶ月が経ちました。

養護老人ホームから特養ホームへの異動となり勤務時間、勤務内容がかなり違うので

は瞬間に施設内に広まり大勢の罹患者が出る恐ろしい病気です。高齢者は特に免疫力や体力が低いために重症化し死に至る場合があります。今年は感染症対策で、ウエルセプトという新しい消毒薬を導入し感染症予防に努めております。

おかげ様で昨年度は、インフルエンザに罹患した利用者様はいらっしゃいませんでしたので、今年度も集団感染しないように皆様の健康管理に尽力したいと思います。

(新任看護員(あいさつ))
昨年の10月1日から紫苑荘健康管理室勤務となりました及川貴子です。



私は、平成25年4月より、望みの門訪問看護ステーションに入職し、現在は訪問看護ステーションの訪問看護員と紫苑荘の看護員との兼務をしています。

今まで10年以上病院で勤務していました。手術室、消化器内科、整形外科での経歴があります。高齢者とのふれあいにやりがいを感じ、今はとても楽しく仕事をすることが出来、生きがいを感じています。これからがんばっていきますので、宜しくお願いいたします。

(看護職員一回)

厨房使い

調理員 吉田安代

望みの門の調理員として勤務し始めて早3ヶ月が経ちました。病院の厨房勤務の経験しかなかったので、紫苑荘利用者様の食事形態の細かさに驚きました。

「常食」または「軟菜食」それぞれに「刻み」「大荒」「荒みじん」と分かれていて、利用者様の体調に合わせて提供しています。

毎月行われる「誕生会」や「季節の行事」などの際の「行事食」は、栄養士さんが季節に合った献立を考え、その日の担当となった調理員さんたちが一丸となって作っています。利用者様も「行事食」をおとして季節感を味わっていただけるのではないかと思います。行事食は、病院食とは違う、特別養護老人ホームならではの食事だと思います。

利用者様の食事の様子を時々拝見すると、中には介護さんに介助されて召し上がっている方もおり改めて「食」の大切さを実感します。

入職して3ヶ月が過ぎ、やっと仕事の流れが掴みかけてきたところです。覚えることがまだまだ沢山



あり、不安な面もありますが、厨房のスタッフが皆さん明るく陽気なことに心励まされています。一日も早く、厨房スタッフの一員として仕事ができるように努力します。

社会福祉事業功労章

介護主査 鳥海秀子さん

望みの門において介護職員として20年の永きににわたりご尽力されました。

このたび、全国老人福祉施設協会会長ならびに千葉県社会福祉協議会会長より、永年にわたる介護業務の功績に対し顕彰を受けられました。

誠におめでとうございます。



職員慶事

〓祝〓結婚〓

事務員 高橋彩乃さん(旧姓・矢城)

H26年9月23日入籍



健康管理室長

渡邊章貴さん(旧姓・千葉)

副主査生活相談員 渡邊由佳さん

H26年11月23日入籍

編集後記

〇望みの門では、JR上総湊駅前にあった「東京都足立区健康学園」の跡地に、新たに「児童心理治療施設(情緒障害児短期治療施設)」の事業を開始する予定で、現在千葉県当局を通じて準備を進めています。

家庭の事情で、親御さんのもとで暮らすことが出来ずに尚かつ、心理的な治療が必要な子どもさんのための施設となる予定です。施設内には、児童精神科の医師が常駐し、精神科クリニック(診療所)を併設し外来診療も行う予定です。

〇昨年は職員の祝い事がいくつもありました。介護職員1名が無事出産し、産後休暇を終えて7月より介護業務に戻って来ました。

また、3名の職員がめでたく結婚されました。そのうち1組のカップルは職場結婚です。

望みの門の法人職員の中には、これまで何組かのカップルが結ばれましたが、紫苑荘では、又方振りのカップルの誕生です。どうぞ。末永くお幸せに。

社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
特別養護老人ホーム 望みの門紫苑荘
千葉県富津市富津617の14

0439(87)5077
発行責任者 施設長 佐野 毅